

栗林すみれ_piano

開場 14:30

開演 15:00

MC=3300+2drinks order

メールでご予約の場合、必ず当日ご連絡の取れる電話番号をご記載下さい。



生田流箏奏者である父の箏を聞いて育つ。2014 年行方均氏のプロデュースでサムシンクールレーベルからデビュー。1st アルバムがディスクニュースグランプリ受賞。2018 年総勢 11 名参加のアンサンブル作品をリリース。ジャズライフ誌で表紙を飾る。金澤英明とのユニット「二重奏」を三作リリースし、国内で高い評価を得る。海外での活動も盛まじく、ロンドンのホクトストンホールでのリーダー公演、南イタリアでのソロコンサート、ドイツではウォルター・ラング、福盛進也とともに老舗クラブウンタファルトのマンスリーピックアップアーティストとして出演、ジュゼッペ・バッシ・グループでのイタリアでの録音、ツアー、台湾ツアーにも参加。オーストラリアのワンガラッタジャズフェスティバルにニラン・dashika とのユニットと、自己のセクステットで出演。1 番印象だったパフォーマンス (australianbookreview)、フェスティバルのハイライト (サイバーハライド・ジャズ)、2020 年ジュゼッペ・バッシとのリモート録音作品がイタリアのベストジャズアルバム 100 に選ばれる。イタリアのジャズマガジンジャズコンペニションに選ばれ、「日本のジャズシーンの若い世代に属している栗林は、彼女の注目に値する創造的資質と、彼女の質感を交差させる驚くべきストーリーテリングの両方で、ここ数年で最も高く評価されているピアニストの一人です。ヨーロッパのインプロコミュニティ CIproject に参加。溝口肇のジャズアルバムへの参加や、NHKBS プレミアム『美の壺』でオリジナル曲使用されるなど作曲やアレンジ面の才能も発揮し先人へのよくあると堅い音楽性の融合から紡ぎだされるオリジナル曲とインプロヴィゼーションは新たな世界を切り開きながらも心地良く、多くの聴衆の心を掴む。



東京藝術大学在学中、ポーランドのジャズシーンに衝撃を受けジャズヴァイオリンに転向。2024 年、ポーランドで行われた第 6 回 Zbigniew Seifert 国際ジャズコンペティションでアジア人初の 3 位入賞を果す。大学在学中より作曲やアレンジなどの活動を行うようになる。卒業後は映画劇伴音楽からメジャーシーンのポップスアレンジまで手がける。また数多くのシンガー・ミュージシャンのサポートもしており、これまでに King Gnu、秋山黄色、石崎ひゅーい、Omoinotake、崎山蒼志、yama、加藤ミリヤなどと共演した。レコーディングも多く参加しており、2023 年公開の映画『ライフ・イズ・クライミング!』劇中の長尺の完全即興演奏が話題となった。現在は東京を拠点にライブやレコーディングを中心に精力的に活動を行なっている。